



# 2014年3月期 第2四半期(上半期) 決算説明会

---

2013年11月12日



日本アジアグループ株式会社

---

- 1. 日本アジアグループの概要**
- 2. 2014年3月期 上半期 決算概況**
- 3. 2014年3月期 通期見通し**

# 日本アジアグループの概要

---

- グループ概況
  - 各セグメントの事業
  - 上半期の主な取組み・活動
-

# グループ概況

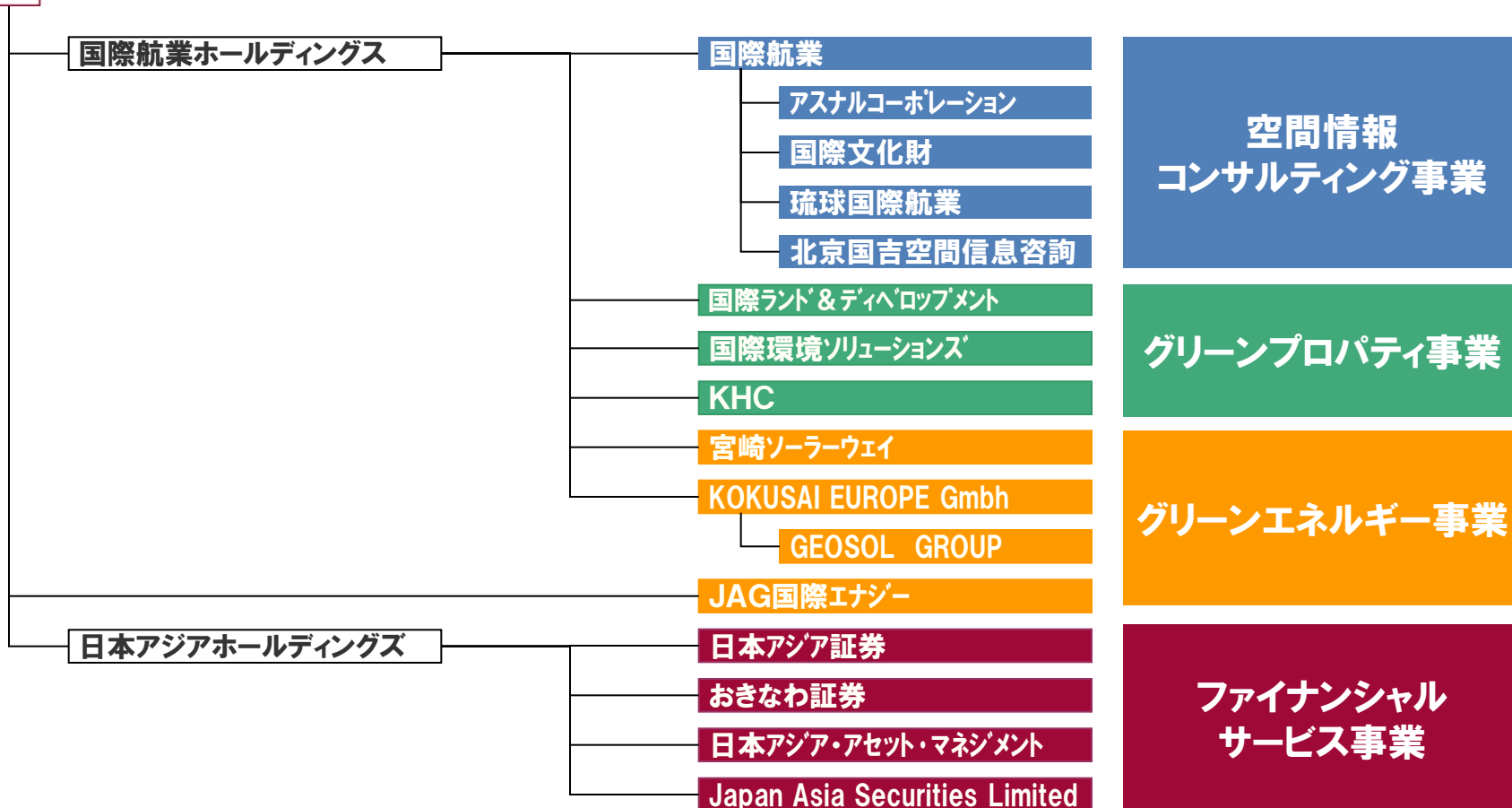


会社数 連結子会社61社、持分法適用関連会社2社

従業員数 2,844名(連結)

主要事業 空間情報コンサルティング、不動産・住宅、太陽光発電、金融業

**AJ** 日本アジアグループ株式会社 (東京証券取引所マザーズ:3751)



平成25年3月31日時点



## グリーン・コミュニティ Green Communities

### グリーンエネルギー事業

再生可能エネルギー  
太陽光発電



### グリーンプロパティ事業

不動産ソリューション  
エコタウン開発  
資産の省エネ・創エネ化



### 空間情報コンサルティング事業

空間情報・国土デザイン技術、PPP/PFI事業、  
アセットマネジメント、防災・減災まちづくり



### ファイナンシャルサービス事業

金融サービス、金融商品の組成販売  
投融資資金の調達



# 上半期の主な取組み・活動



## 【グリーン・コミュニティ】

田子西 環境省モデル事業に採択、スマートヴィレッジ内覧会実施

## 【空間情報コンサルティング】

### ●復興関連

CM方式による震災復興事業

放射線モニタリングによる除染調査業務

### ●防災関連(30年以上に渡る自主的な活動)

7月 山口県・島根県豪雨災害調査

9月 埼玉県・千葉県における竜巻被害調査

9月 台風18号豪雨災害(京都府由良川)調査

10月 台風26号豪雨災害(東京都伊豆大島)調査

### ●技術開発

メタウォーターとの水道事業に関する業務提携

ARナビを利用した物流ソリューションの実証実験に参画

## 【グリーンエネルギー/プロパティ】(数値:MW)

竣工 北海道本別(1.0)・幕別(0.7),福岡県響灘(2.0)

開発 静岡県富士市(1.7),神奈川県大井町(13.0),和歌山県橋本市(0.7)

資金調達 プロジェクトボンド発行に際し予備格付け取得

(アレンジャー:ゴールドマン・サックス証券株式会社)

## 【海外】

国連国際防災戦略のPrivate Sector Advisory Group議長に就任

国連グローバルコンパクトに加盟



田子西エコモデルタウン イメージ



災害調査に伴う現地調査



坂出ソーラーウェイ



# 2014年3月期 上半期 決算概況

---

- 上半期決算 要旨
  - 2014年3月期 上半期 連結決算(P/L)
  - 当社グループの業績特性
  - セグメント別業績(P/L)
  - セグメント別概要
  - 2014年3月期 上半期 連結決算(B/S)
  - 2014年3月期 上半期 連結決算(C/F)
-

## 上半期での黒字化

- **全セグメントで増収を達成**

復興関連や防災関連の受注が好調な空間情報コンサルティング事業、  
国内外株式の取扱拡大に伴うファイナンシャルサービス事業の好調

- **ファイナンシャルサービス事業の好調で大幅増益、  
かつ為替差益も追い風**

- **利益率改善に向けた取組みを継続**



# 2014年3月期 上半期 連結決算(P/L)



(単位:百万円)

	2012/2Q	2013/2Q	増減額
売上高	24,340	29,530	5,190
営業利益	△1,755	232	1,987
(営業外収益)	601	770	169 ※1
(営業外費用)	1,018	898	△119
経常利益	△2,172	104	2,276
(特別利益)	539	398	△141 ※2
(特別損失)	158	15	△143
税金等調整前四半期 純利益	△1,791	487	2,279
(法人税等)	127	288	160
四半期純利益	△1,919	199	2,118

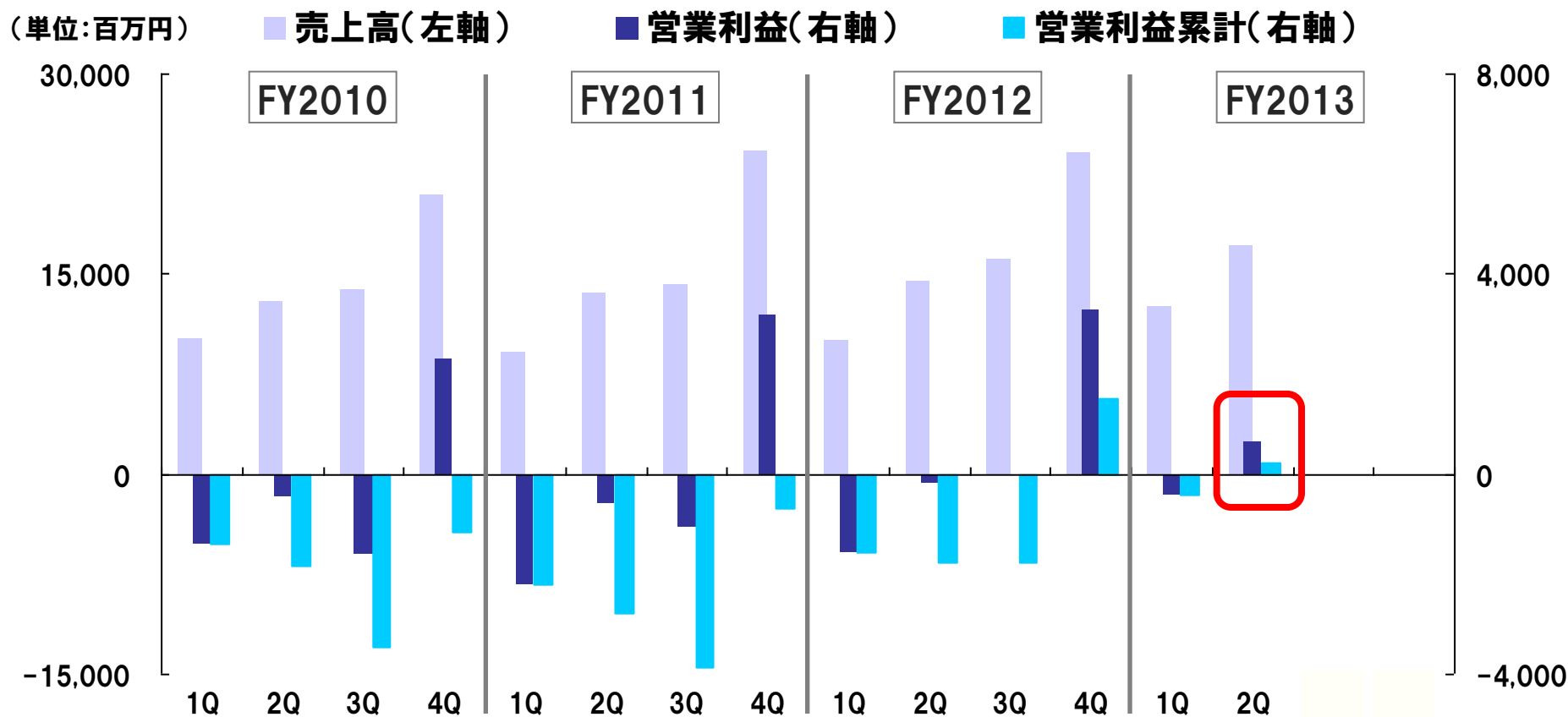
※1 対ユーロにおける円安反転により為替差益340百万円の発生(前期為替差損165百万円)

※2 関係会社株式売却益398百万円を特別利益として計上

# 当社グループの業績特性



売上高構成比率の高い空間情報コンサルティング事業及びグリーンプロパティ事業において、顧客特性により売上高と利益が4Qに偏重するため、当社連結決算も同様に期末偏重型となる。今期は上半期での黒字化を達成。



当社グループの売上高、営業利益の推移

# セグメント別業績(P/L)



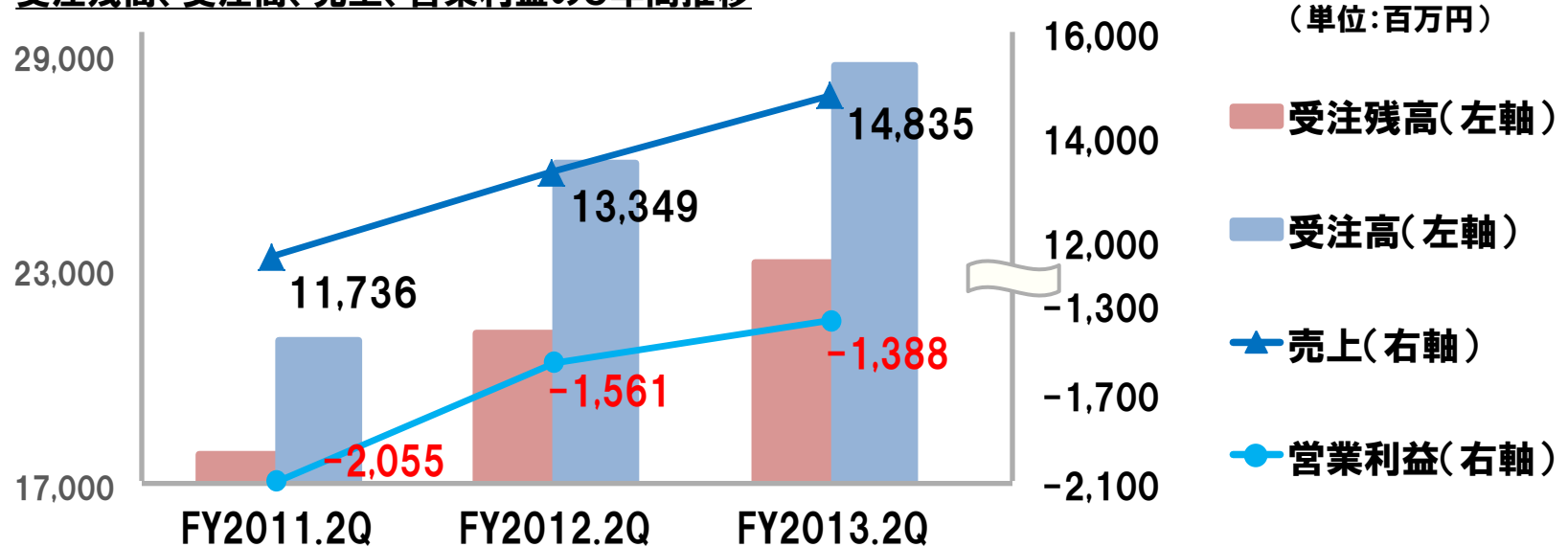
(単位:百万円)

	2012/2Q	2013/2Q	増減額
<b>売上高</b>	24,340	29,530	5,190
空間情報コンサルティング事業	13,349	14,835	1,486
グリーンプロパティ事業	7,346	8,240	894
グリーンエネルギー事業	357	720	362
ファイナンシャルサービス事業	3,272	5,722	2,449
<b>営業利益</b>	△1,755	232	1,987
空間情報コンサルティング事業	△1,561	△1,388	172
グリーンプロパティ事業	210	154	△55
グリーンエネルギー事業	△103	59	163
ファイナンシャルサービス事業	11	1,664	1,653

- ・ 空間情報コンサルティング事業は好調な受注を背景に増収増益を維持
- ・ グリーンプロパティ事業は戸建住宅事業が堅調も土壌汚染対策業務(大型案件)での未達
- ・ グリーンエネルギー事業は、国内売電収入の拡大と欧州発電所売却により増収、黒字転換
- ・ ファイナンシャルサービス事業は国内外株式の好調により大幅な増収増益

## 好調な受注を背景に増収増益を維持

受注残高、受注高、売上、営業利益の3年間推移

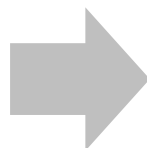
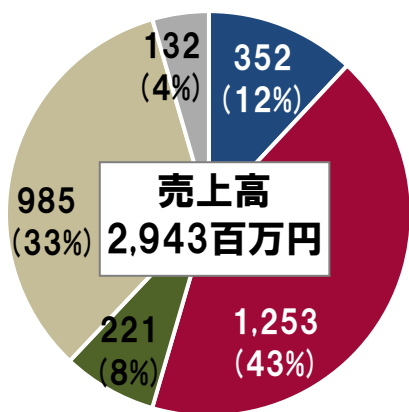


- 受注高:前期比+2,823百万円(+10.8%)**  
 -公共事業費予算の増加を受けて復興・防災対策業務が堅調推移
- 売上高:前期比+1,486百万円(+11.1%)**  
 -潤沢な業務量により稼働率向上
- セグメント利益:前期比+172百万円**

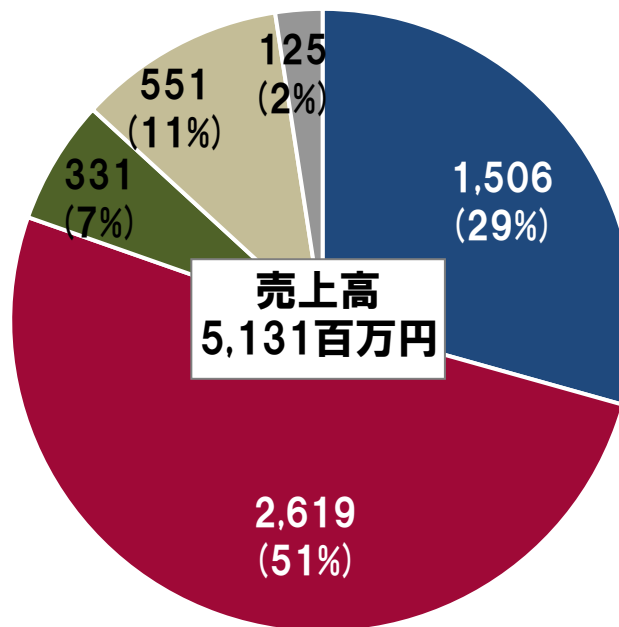
# 日本アジア証券の収益構造の変化

- 外国株式は前年同期比2.1倍の2,619百万円と拡大基調が続いており、営業収益の過半を占める
- 国内株式も株式市場の堅調な推移を追い風として同4.3倍の1,506百万円と大幅に拡大。

2012年度 上半期



2013年度 上半期



■ 国内株式 ■ 外国株式 ■ 投資信託 ■ 外債・EB債等 ■ その他

※図中の売上高とは証券業の営業収益を表します。

# 2014年3月期 上半期 連結決算(B/S)



(単位:百万円)

	2013/3月末	2013/9月末	増減額
<b>流動資産</b>	69,587	60,606	△8,980
現金及び預金	21,507	18,521	△2,986※1
受取手形及び売掛金	25,688	14,351	△11,337※2
その他	22,391	27,734	5,343※3
<b>固定資産</b>	27,202	28,314	1,112
<b>資産合計</b>	96,853	89,045	△7,808
<b>負債</b>	77,490	69,041	△8,448
有利子負債	48,025	39,619	△8,405※4
その他	29,465	29,422	△42
<b>純資産</b>	19,363	20,003	639
株主資本	18,503	18,703	199
少数株主持分	64	61	△2
その他	795	1,238	442
<b>負債・純資産合計</b>	96,853	89,045	△7,808

※1 借入金返済及び買掛金・未払い金の支払に伴う減少

※2 前期末の売上代金回収に伴い国際航業の売掛債権が減少

※3 信用取引資産等の拡大に伴う増加

※4 前期末の短期借入金返済に伴い、国際航業の有利子負債が減少

# 2014年3月期 上半期 連結決算(C/F)



(単位:百万円)

	2012/2Q	2013/2Q	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	4,758	5,452	693	当期純利益が改善する一方、証券業における信用取引勘定が増加
投資活動によるCF	△564	△1,013	△449	国内太陽光発電所の開発に伴う有形固定資産の取得
財務活動によるCF	△4,194	△8,409	△4,240	短期借入金の返済
現金等の増加額	△128	△3,853	△3,724	
現金等の期末残高	14,055	15,717	1,389	



# 2014年3月期 通期見通し

---

- 2014年3月期 通期見通し
  - 2014年3月期 下期の取組み
  - 太陽光発電事業に関する進捗
-



# 2014年3月期 通期見通し



(単位:百万円)

	FY2012 (実績)		FY2013 (見通し)		増減額
<b>売上高</b>	<b>64,384</b>	<b>100.0%</b>	<b>73,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,616</b>
空間情報コンサルティング事業	38,264		40,500		2,236
グリーンプロパティ事業	17,590		22,000		4,410
グリーンエネルギー事業	699		1,000		301
ファイナンシャルサービス事業	7,801		9,500		1,699
<b>営業利益</b>	<b>1,497</b>	<b>2.3%</b>	<b>3,200</b>	<b>4.3%</b>	<b>1,703</b>
空間情報コンサルティング事業	703	1.8%	1,000	2.4%	297
グリーンプロパティ事業	928	5.2%	800	3.6%	△128
グリーンエネルギー事業	△343	-	△100	-	243
ファイナンシャルサービス事業	785	10.0%	2,200	23.1%	1,415
<b>経常利益</b>	<b>673</b>	<b>1.0%</b>	<b>2,000</b>	<b>2.7%</b>	<b>1,327</b>
<b>当期純利益</b>	<b>1,038</b>	<b>1.6%</b>	<b>1,500</b>	<b>2.0%</b>	<b>462</b>

\*各セグメントの営業利益は内部取引調整後の数値となります。

## 課題

## 対策

### 全社部門

- ・安定成長に向けた選択と集中
- ・財務体質の強化

- ・「グリーン・コミュニティ」関連事業推進
- ・本社部門の収益改善と資金調達が多様化

### 空間情報コンサルティング事業

- ・営業利益の拡充
- ・行政支援分野の受注拡大

- ・生産管理ツールによる、生産体制の最適化
- ・自治体市場に対し、行政業務総合支援システムを改定し積極展開

### グリーンプロパティ事業

- ・住宅等物件の完工
- ・コスト上昇(資材、人件費)

- ・工程管理の徹底
- ・資材の早期の調達、予定工期内での完工

### グリーンエネルギー事業

- ・用地確保
- ・系統連系接続

- ・営業チャネルの拡大・強化
- ・申請行為の迅速な対応及び交渉

### ファイナンシャルサービス事業

- ・新規商品開発・取扱い
- ・NISA口座の獲得

- ・市民ファンド立ち上げ準備
- ・NISA向け投信をグループで共同開発・販売

# 太陽光発電事業に関する進捗



## 【日本】

(単位:MW)

ビジネスモデル	稼働・竣工	案件確保	交渉中	合計
売電事業	10.9	84.7	360.7	456.3
開発・運営受託事業 (PM/CM/EPC/O&M)	3.2	40.0	7.8	51.0
				計 507.3

## 【欧州】

(単位:MW)

ビジネスモデル	稼働
売電事業	6.1
開発・運営受託事業 (PM/CM/EPC/O&M)	69.7

※売電事業については、案件確保とは土地確保が既に済んでいる案件で、電力会社との接続協議中の案件も含まれます。  
また、開発・運営受託事業については、委託者との契約もしくは契約内示が既に済んでいる案件となります。

# 足柄大井ソーラーウェイの開発

- ・ 神奈川県大井町のコマツ試験場跡地を取得して開発
- ・ グループ最大かつ神奈川県で最大級の開発規模
- ・ 神奈川県が全国初となるメガソーラー用地の不動産取得税の減免を実施、地方自治体との良好な関係を築く



足柄ソーラーウェイ イメージ

## 【開発計画概要】

発電所名称	足柄大井ソーラーウェイ
事業者	JAG国際エナジー株式会社
立地場所	神奈川県足柄上郡大井町
立地面積	約143,000m <sup>2</sup> (開発利用面積)
出力	約13MW
着工時期	2014年2月予定
竣工時期	2015年3月予定
パネルメーカー	株式会社東芝

# 富士市ルーフトップ型太陽光発電所の開発



- 富士市の浄化センターで県下最大級のルーフトップ型太陽光発電所を建設
- カナダで多数のルーフトップ型太陽光発電所の開発実績を有するソーラーパワーネットワーク株式会社と当グループ会社の共同事業
- 当グループは静岡県および富士市のパートナーとして事業を推進



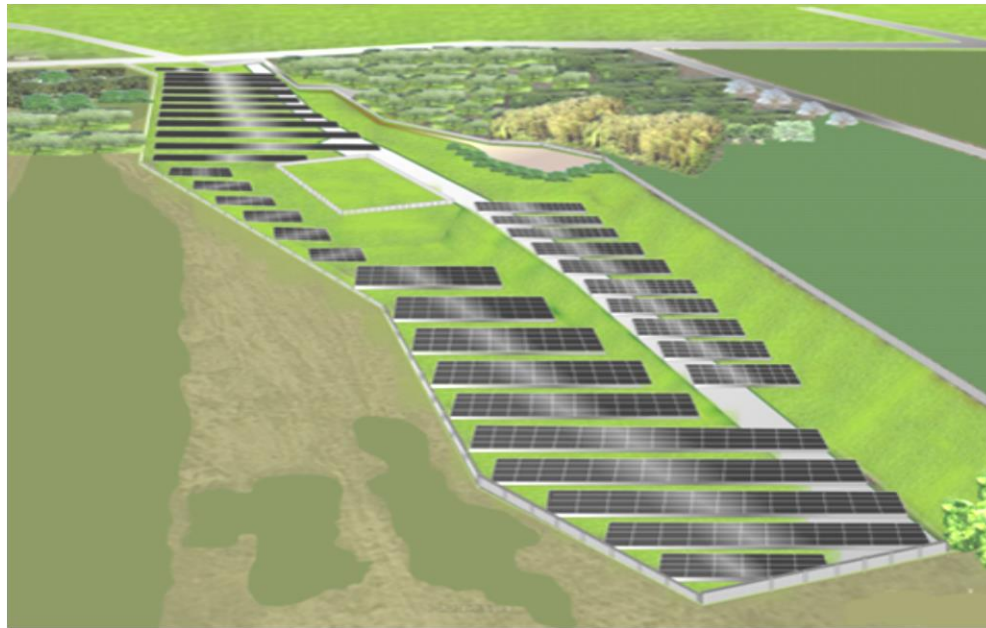
富士市西部浄化センター太陽光発電所(仮) イメージ

## 【開発計画概要】

発電所名称	富士市西部浄化センター太陽光発電所(仮)
事業者	ソーラーパワーネットワーク株式会社・国際ランド&ディベロップメント株式会社の共同企業体
所在地	静岡県富士市宮島1260番地 富士市西部浄化センター水処理棟
事業計画面積	10,616㎡
想定出力	約1.7MW
稼働開始	2014年10月

# (仮称)和歌山・橋本太陽光発電所の開発

- 和歌山県所有の未利用地(産業廃棄物処理施設跡地)を有効活用
- 「官民一体」の要素が加わった今後のまちづくりを示唆する象徴的事業
- グループ会社が連携し和歌山県の防災政策に貢献



(仮称)和歌山・橋本太陽光発電所 イメージ

## 【開発計画概要】

発電所名称	(仮称)和歌山・橋本太陽光発電所
事業者	国際航業株式会社
立地場所	和歌山県橋本市野
立地面積	約12,500㎡
出力	714kW
着工時期	2013年12月
竣工時期	2014年3月 予定
パネルメーカー	国産パネルを予定
EPC事業者	国際ランド&ディベロップメント株式会社

# Appendix

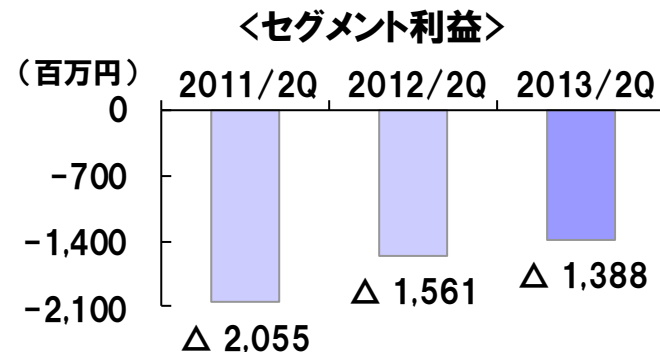
---

- 2014年3月期 上半期 セグメント別概要
  - 太陽光発電開発実績(国内)
-

## セグメント決算概要

- **売上高:前期比+1,486百万円(+11.1%)**
  - 公共事業費予算の増加
  - 潤沢な業務量により稼働率向上
- **営業利益:前期比+172百万円**
  - 生産性の向上に向けた取組み継続

## セグメント業績推移



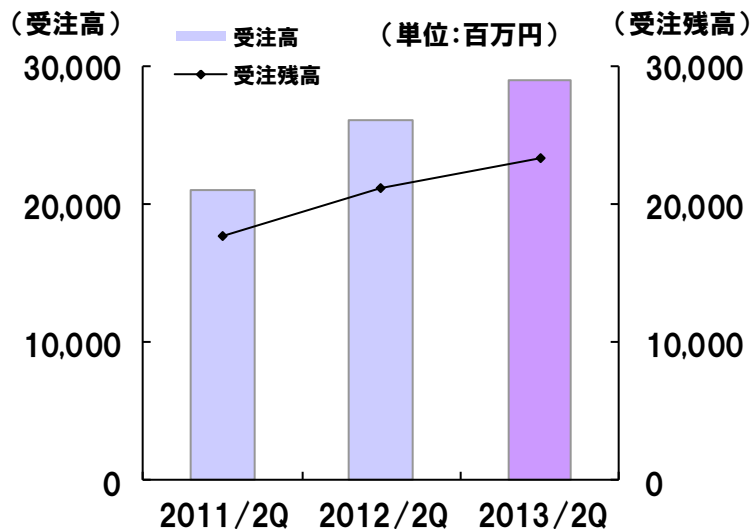


# 受注の状況(空間情報コンサルティング事業)



(単位:百万円)

2012/2Q		2013/2Q		比較増減	
受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
26,146	21,255	28,970	23,314	+10.8(%)	+9.6(%)



## <増加要因>

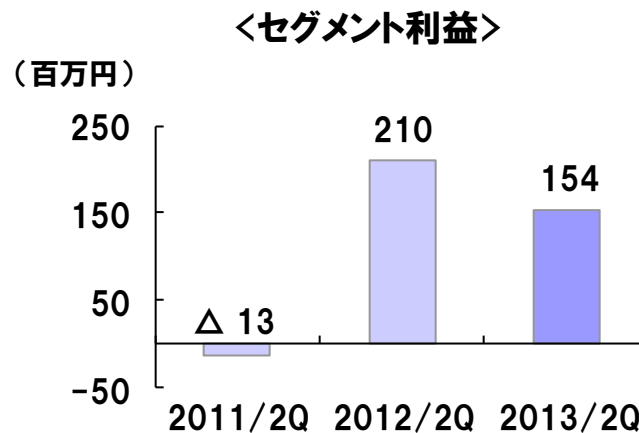
### 復興・防災対策業務の増加継続

- ・道路ストックの老朽化対策
- ・復興事業支援

## セグメント決算概要

- **売上高:前期比+894百万円 (+12.1%)**
  - 太陽光発電所関連業務の拡大
  - 戸建住宅事業が堅調に推移
- **営業利益:前期比△55百万円**
  - 土壌汚染対策業務(大型案件)での未達

## セグメント業績推移



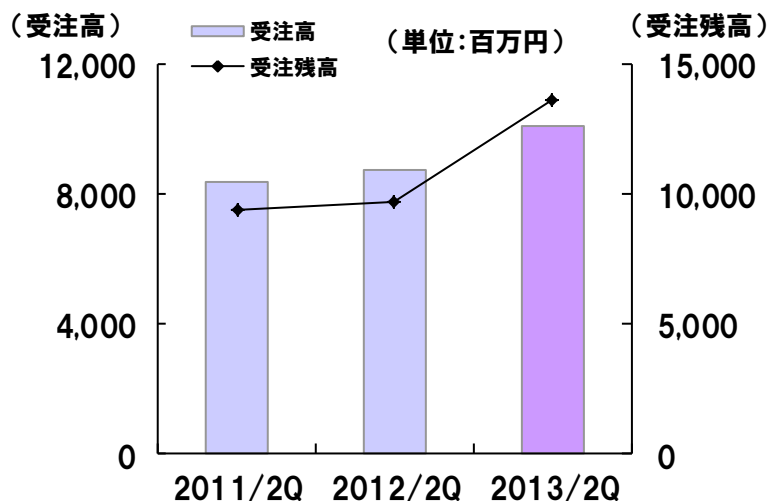
# 受注の状況(グリーンプロパティ事業)



(単位:百万円)

2012/2Q		2013/2Q		比較増減	
受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
8,725	9,694	10,114	13,629	+15.9(%)	+40.5(%)

2012/2Q	2013/2Q	比較増減
注文住宅着工棟数(棟)	注文住宅着工棟数(棟)	注文住宅着工棟数(棟)
217	205	△12



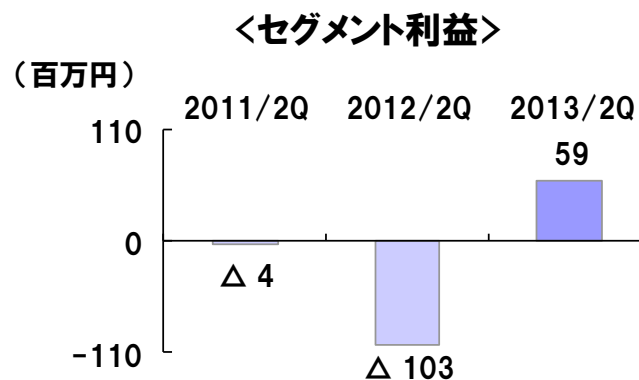
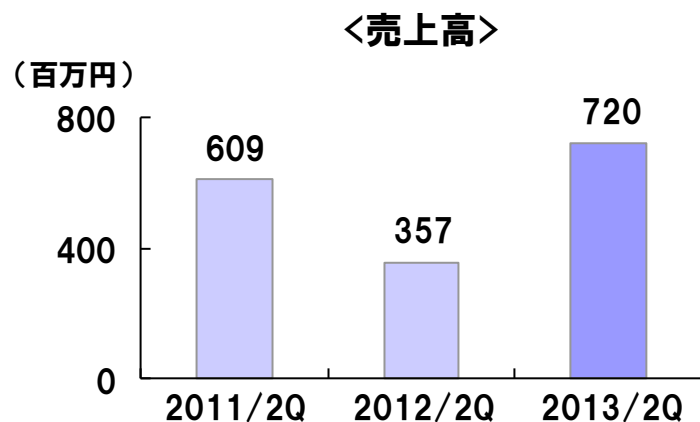
## <増加要因>

- ・注文住宅分野での受注・着工は堅調推移
- ・太陽光発電関連事業の拡大化

## セグメント決算概要

- **売上高:前期比+362百万円**
  - 欧州は発電所売却に加え売電収入が堅調に推移
  - 国内太陽光発電事業は前期竣工した案件が収益寄与
- **営業利益:前期比+163百万円**
  - 欧州は事業スリム化に伴いコスト低減を継続
  - 国内は太陽光発電所の自社開発が進行

## セグメント業績推移



# 太陽光発電開発実績(国内)



稼働中  
10.95MW

着手中  
23.9MW

未公開  
59.5MW



本別ソーラーウェイ(1.0MW)



幕別ソーラーウェイ(0.7MW)



星が浦ソーラーウェイ(1.5MW)



音別ソーラーウェイ(0.7MW)



中札内ソーラーウェイ(1.5MW)



尾道市高須町  
太陽光発電所  
(0.6MW)

白石ソーラーウェイ(2.0MW)

響灘ソーラーウェイ(2.0MW)



宇佐ソーラーウェイ(1.0MW)

鹿屋ソーラーウェイ(0.5MW)

宮崎ソーラーウェイ  
(第一0.05、第二1.0MW)



坂出ソーラーウェイII  
(2.0MW)

(仮称)和歌山・  
橋本太陽光発電所  
(0.7MW)

行田SW  
(2.0MW)

足柄大井SW  
(13MW)

埼玉・杉戸SW  
(0.5MW)

館林ソーラーパーク(0.5MW)

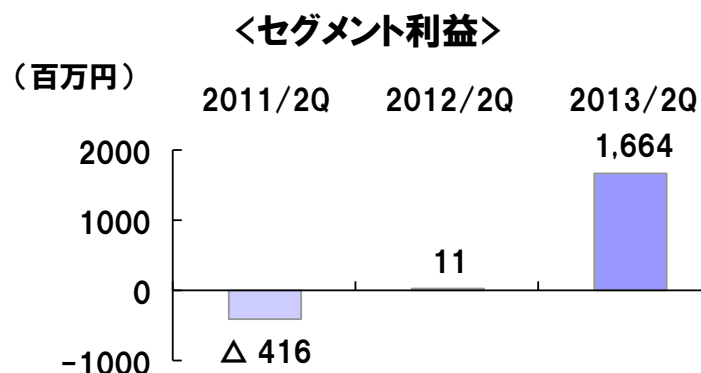
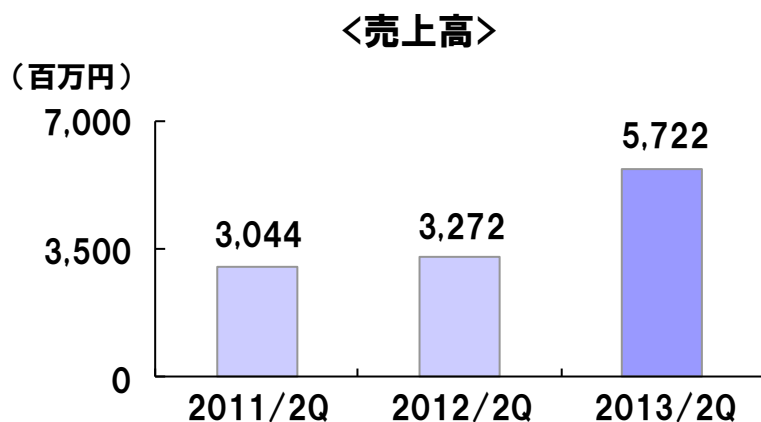


サイカチ山  
ソーラーウェイ  
(1.6MW)

## セグメント決算概要

- **売上高:前期比+2,449百万円(+74.8%)**
  - 外国株式は引き続き最大の収益源
  - 日本株による収益が大幅に拡大
- **営業利益:前期比+1,654百万円(150倍)**
  - 取引拡大に伴う大幅増益

## セグメント業績推移





お問い合わせ先:  **日本アジアグループ株式会社**

**コーポレート・コミュニケーション部**

**TEL:03-3288-5704**

**FAX:03-3262-6390**

**E-mail: ir@japanasiagroup.jp**

**URL: <http://www.japanasiagroup.jp/>**

**本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。**